

(参考様式2)

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年3月31日

計画の名称	16	鉄道高架による渋滞解消及び地域緊急交通路の整備強化		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成27年度 (4年間)		交付対象	大阪府、岸和田市

計画の目標

鉄道を高架化（限度額立体交差事業）し踏切除却により、慢性的な交通渋滞と地域分断の解消を図る。
併せて、緊急交通路となる都市計画道路の整備により、救命救急活動範囲の拡大と搬送時間短縮による救命率の向上に寄与する。

- 計画の成果目標（定量的指標）
- 踏切における踏切渋滞の解消が図られる。
 - ボトルネック解消による踏切での待機時間を無くし、救命救急車両の搬送時間短縮により救命率を向上させる。

アウトカム指標の定義及び算定式		アウトカム指標の現況値及び目標値			備考
		当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H27末)	
①踏切遮断時間の解消 ②救命救急活動時の踏切影響解消					
① 1日あたりの踏切遮断時間の減少 1日あたり踏切遮断時間 = 【当初：H21踏切実態調査データ（府道岸和田港塔原線他6踏切）】		岸和田港塔原線 9.6時間 並松上松線 9.8時間	岸和田港塔原線 5.7時間 並松上松線 5.8時間	岸和田港塔原線 0時間 並松上松線 0時間	
②救命救急活動時の踏切影響の解消 救命救急活動車両が踏切通過影響を受けた件数【平成23年度実績】		2,604件	2,604件	0件	

全体事業費	合計 (A+B+C)	23,093 百万円	A	23,093 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	---------------	---	---------------	---	----------	---	----------	---------------------------	------

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 地方道路整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
												H24	H25	H26	H27	H28		
16-A1	道路	一般	大阪府	直接	一	都道府県道	改築	0.55	(主) 岸和田港塔原線	限度額立体交差 L=2.1km	岸和田市						15,100	
16-A2	道路	一般	岸和田市	直接	一	市町村道	改築	0.55	(他) 並松上松線	限度額立体交差 L=2.1km	岸和田市						6,643	
16-A3	街路	一般	岸和田市	直接	一	S街路	改築	0.55	3・4・202-18 岸和田港福田線	バイパス L=0.76km	岸和田市						1,350	
合計												23,093						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
										H24	H25	H26	H27	H28				
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						
合計												23,093						

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		下り線の高架切り替えが完了したため、踏切遮断時間が少し削減された。			
II 定量的指標の達成状況	指標① 1日 あたりの踏 切遮断時間 の減少	最終目標値	岸和田港塔原線 0時間 並松上松線 0時間	目標値と実績値 に差が出た要因	・上り線の高架化がまだ完了していないため、目標値と差が生じた。
		最終実績値	岸和田港塔原線 5.2時間 並松上松線 6.7時間		
II 定量的指標の達成状況	指標②救命 救急活動時 の踏切影響 の解消	最終目標値	0件	目標値と実績値 に差が出た要因	・上り線の高架化がまだ完了していないため、目標値と差が生じた。
		最終実績値	2668件		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針等)					
・ H28より別計画に移動しており、引き続き工事進捗を進め、早期の効果発現に努める。					